

一学校教育目標一

よく学び 心豊かで

たくましい上間っ子

- (1) よく考え進んで学ぶ子
- (2) 明るく思いやりのある子
- (3) ねばり強くたくましい子

学校便り

第30号

上間っ子

R6年1月5日(金)

那覇市立

上間小学校

発行責任者

校長 宮里 寧

TEL 917-3327



2学期後半開始全校朝会

-新年の目標！-



2024年、令和6年、1月5日(金)、2学期後半開始全校朝会は、こんな話をしました。あけましておめでとうございます。新しい年が始まります。新しい年には目標を立てると思

います。校長先生は、もう目標を立てました。上間っ子はどんな目標を立てるのでしょうか。勉強の目標でしょうか、学校生活の目標でしょうか。どんな目標を立てるとしても、大切なのは「少しでも前へ進む」ことです。今年の自分よりも、少しでも、ほんの少しでも前へ進む目標を立てましょう。

では、どのように目標を立てればよいのでしょうか。よくある目標が「〇〇をがんばる」です。「国語をがんばる」とか「算数をがんばる」などです。悪くはないのですが、この「〇〇をがんばる」では、目標が達成できたのか、できていないのか、わかりません。

ですから、できれば数字で目標を立てるとよいと思います。

たとえば、上間小では家で勉強する時間を「1・2年生15分～30分」「3・4年生45分～60分」「5・6年生75分～90分」としていますが、少しでも前へ進む目標にするため、これを「学年の時間+10分」にすると、1学期のよい子のあゆみに、先生から「もっと授業中に発言しましょう」と書かれた人は、「発言を1日3回以上する」などもいいかもしれません。

他にも、たとえば、こんな目標もおもしろいかもしれません。「1日に30人以上に挨拶する」。校長先生は、「1日に100人以上に挨拶をする」という目標をもってコツコツやっています。この挨拶の目標を実行する上間っ子が出てきたら、上間小はますます挨拶がステキな学校になりますね。

また、こんな目標もあります。「1日に3回以上『ありがとう』と言う。『ありがとう』という感謝の言葉がたくさん聞こえる上間小になったらステキですね。

さて、目標を立てたものの、うまくいかないことがあります。その時大切なのは、「人のせいにしない」ことです。校長先生もそういうことがあります。立てた目標がうまくいかない時に、人は「人のせい」にしたいくなります。勉強の目標を立てたけれど、「お母さんが家の手伝いをしろと言うから、宿題が、勉強ができなかった」とか、「挨拶をするという目標を立てたけれど、相手の人が挨拶を返してくれなかったから自分からするのをやめた」などです。このように、人のせいにしたいくなりますが、人のせいにする、目標はいつまでたっても達成できません。それよりも、「自分のせい」にしたほうがよいです。うまくいかないのは自分のせいで、「どうすればうまくいくかを考えていく」ことが大切です。

そして、目標がうまくいっているときは、感謝の気持ちを忘れないでほしいです。立てた目標がうまくいっているのは、もちろん自分が頑張ったことも大きいですが、お家の人や先生、友だち、クラスの人などからの応援もあったのではないのでしょうか。

しっかりした目標を立てて、人のせいにしないで、感謝の気持ちをもって目標をしっかりと見続ければ、今年もきっとステキな年になると思います。